



# 七月の教育委員会から 学校統合に教委が本腰

## 教育五カ年計画に着手

いまかりに、慢性虫垂炎で苦しむ患者がいたとする。この病人は早く手術をすれば健康な体になれることを、たれよりもよく知っていた。それなのに切開の苦痛を恐れ、まじないや内服薬に頼っているうちに命を失ってしまった。いったいそれを責めるべきであろうか。まことに失礼な話ではあるが、町を患者にたとえたい。主治医は教育委員会、そして病名を「学校問題」という。「キミは平和な町に乱を起させるのか」と立腹する御仁は、この記事を最後まで読んでいただきたい。

## 統合を含めた 五カ年計画に

「川西町教育委員会は、いま学校教育の諸問題を、根本的に検討しなければならぬハメにきている。…」着任以来四月、ようやく管内の巡視を終った杉本教育長が、七月の定例教育委員会ですしむとらしたことは、あつて、高橋委員長をはじめとして、小幡義布(橋)小林誠治(仙田)上村省司(上野)の各委員が、町づくりの最大のヤマであるといわれる学校問題に、全力をあげてとりくむことになった。教育委員会としての立場であらゆる角度から検討を重ね、学校統合を含めた教育五カ年計画を樹立して、町当局に通告することを決定したのである。

これより先、町議会でも学校統合推進を決議(本紙第五号に既報)し、目下慎重に検討中であるだけに、この計画に本腰を入れはじ

から「教育課程の改訂に伴う移行措置の取り扱い」というむずかしい通達が出された。これによると小学校は三十六年度から、中学校は三十七年度から、それぞれ「学校教育課程の改訂」が行なわれることになる。一例をあげると、いま中学校一年で取り扱われている数学の教材が、三十六年から小学校の五、六年で行なわれる、という結果になり、また中学校の職業家庭科の教材も大きく変わって、産業技術面の教育が重視される。というように、かなり高い学習内容に引きあげられる。だから期間のずれによっては、分数・小数などの計算を学習できない、という生徒が出てきたり、中学校の教材施設がそろわなかったりして、十分な教育効果を得られない場合が予想される。そこでこれに備え、今からしっかりと、教育五カ年計画を樹立しなければならぬ。というところになるわけである。

## 教育課程の改訂 三年後の小中学校に

なせ教育五カ年計画を樹てなければならぬのか、その理由はこうである。ことしの四月、文部省

## 現状では行きづまる 学校統合こそ打開の道

ここで学校教育の現状に目を向けてみよう。いま町では、上野小学校単体の建築や、上野中学校の増築、千手中学校の特別教室などをはじめ、たくさんの特願事項を審議しているが、どれもこれも必要にせまられたものばかりである。しかし将来の児童生徒数に目を注ぐと、①現在七カ校二二二六名の小学生が、三年後には四六五名減少した一八六名となり、昭和三十七年度以降は安定した児童数

変わりが無い。②したがって教師は専門外の教科まで担当しなければならぬ。③しかも前述のようにに教科内容が向上される。④いさお十分な教育ができない。⑤それでは子どもたちがかわいそうだという見かたが成りたつてくる。したがって町財政の面からも、近い学校は統廃合してりっぱな施設を備え、りっぱな職員によってよい教育を進展させる。という線がうちだされるわけ。そこで学校統合を前提とした教育五カ年計画を樹立し、これを強力に推進して行きつづまりを打開しようというものである。

## 住民の理解が先決

これまでハレモノにさわるようになってきたこの問題を、なせとりあげねばならなかったか、これ以上申しあげるとなまらう。各学校からつきつきと持ち込まれてくる請願を、いちいち無計画で受け入れていくと、やがては動きのとれない日がやってくる。町の学校問題も、もつこのへんでしっか

りした線をうたさなければ、絶対体命というハメに迫りこまれたといったら過言だろうか。それだけに「この教育にかけては町のオ二になる」という教育委員の、強い決意がうかがわれる。そしてこの問題の解決には、われわれ住民のよせる正しい理解が、何よりもたいせつなのである。どの学校をどう統廃合することになっても子どもたちのよりよい教育のために、町の将来のためにとなされる

## 戸籍の窓から (七月分)

うぶ声！御すこやかに！  
◎野沢利幸(男)野口◎滋野(吉雄)野口◎藤巻貞子(喜二女)寺ヶ崎◎山田裕司(良太郎)野口◎野沢寿雄(三郎)野口◎上村保弘(晴夫)長男◎上野◎村越郁男(盛之助三男)元町◎上村鉄郎(郡司長男)上野◎高橋伊美子(貞雄長女)山野田◎高橋弘幸(正五郎長男)坪山◎高橋俊朗(倉三長男)伊友◎小林敏之(寅蔵)中屋敷◎片桐幸子(繁行長女)小白◎片桐保宏(保栄長男)小白◎茂野美佐子(武治四女)室島◎保坂正子(理二女)大白◎岡島美江子(光好三女)大白◎

たかさこ！御円満に！  
◎泰野寅蔵(仁田)金子キクエ(元町から)◎江口政義(小白◎江口サツ(小白◎から)◎小林功七(中仙田)小林輝子(中仙田から)◎桐生 茂(大白◎)片桐幸(大白◎から)昇天！御めい福を祈る！  
◎星名重司(六一)元町◎若山昌子(五)新町◎村越リト(七六)野口◎市川イト(七五)平見◎星名ハル(八二)伊友◎沢川ツル(八九)発電所通り◎田中龍松(八二)小白◎丸山ミネ(五五)中央町◎樋口興治(六八)中仙田◎青木三津子(一)田戸◎青木太郎(七五)小脇◎片桐良治(三〇)大白◎

町公民館では、県から増井・佐藤・重野の三講師を招き、八月下旬に新生活運動指導者養成講習会(仙田地区)を開催する。会場は仙田中学校。千手・上野・橋で実施すみたから、これが終わると、全町に「新生活運動指導者」が養成されたことになる。  
「訪問集会のリーダー養成講習」を実施する予定。  
◎ことしの盆おどり大会(公民館主催)は、八月十四・五・六日の三日間、午後八時から十一時まで千手中学校のグラウンドで行なわれる。  
◎全町仮装大会(商工会と公民館共催)は、八月十八日午後八時から十時半まで、町のメヌキどおり(千手農協前から松葉屋前)で行なわれる。参加者は自由。  
◎七月災害による県道仁田地内の復旧は、九月中旬から本工事に着手する。完成は十一月中旬の予定だが、期間中上回路として旧県道を利用するため、いま仁田橋の復旧工事(請け負いは丸山工務所)を急いでいる。  
◎新町に赤痢が集団発生(十一世帯・十七人)したが、係や部落の機敏な処置でその後の発生を見なかつたのは幸いだった。  
◎手洗いを励行しハエやカを撲滅し◎暴飲暴食をやめて、もう赤痢は出さないことにしよう。

お盆やお祭りが近づきました  
あなたはねらわれています

川西町公民館衛生推進委員会

### 匿名でテレビ七台を寄贈

#### 今度は千手の篤志家が

匿名でテレビを寄贈した佳話がお忘れなさい。またまた町の篤志家(特に名を秘す)によつて、七台(千手小学校に三台、千手中学校に三台、町中央公民館に二台)のテレビが寄贈された。

「これだけは記事にしてくれるな。」という寄贈者の御意向ではあったが、あえて掲載させていたのは、みなさんといっしょに心からのお礼を申しあげたいからである。

千手小学校(富永 男校長)と千手中学校(榎原平校長)ではことしの春PTAが主体となり、テレビ聴視施設の実現を目標として、これまで父兄に働きかけてきた。

しかし一月平均四百円に近い寄付金は、そう簡単に集められるものではなかった。そこで関係者はどうしたらよいかを協議したが、たまたまこの話を聞いたのが某氏だった。そして「名前を公表しない」ことを条件に、寄贈を申し出てくれたのである。しかも小中学校に三台ずつ、合わせて六台という大きな贈り物だった。「子どもは町の宝、そのためにはよりよい教育を」というねがひからであつた。

匿名でテレビを寄贈した佳話がお忘れなさい。またまた町の篤志家(特に名を秘す)によつて、七台(千手小学校に三台、千手中学校に三台、町中央公民館に二台)のテレビが寄贈された。

「これだけは記事にしてくれるな。」という寄贈者の御意向ではあったが、あえて掲載させていたのは、みなさんといっしょに心からのお礼を申しあげたいからである。

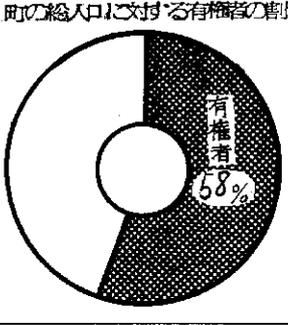
さうして某氏は、「公民教育のために」と、中央公民館にも一台を寄贈してくれた。

思ひもかけず七台のテレビを贈られた千手は、いま感謝のことはあふれている。それはよき町民となつて、この名知らぬ人の善行に報いようとする誓いのことばでもあるようだ。しあわせに勉強をつづける子どもたちも、いつかはきっと、某氏の御厚意に応えるだけの人間に成長してくれるだろう。

### あなたの一票は正しかったか

四月の統一選挙から六月の参議院議員選挙まで、三月にわたつた選挙も終わつて、新しい県知事、県議会議員、参議院議員がその職務につきました。

わたくしたちの選んだ人たちはいまだどのように働き、これからどのような政治を行なつてくれるでしょう。



町の総人口に対する有権者の割合

うか。為政者の行動をよく見きわめて、よりよい生活ができるように協力してゆきましょう。

「あなた任せの政治」に慣れた習性を改めて、政治に関心をもちたいものです。そのためには日頃のマスコミを通じたり、社会教育の面からも話し合い活動を盛んにしたりして、みんなで公明選挙運動を推進し、政治的常識を養つてゆかなければなりません。

町選挙管理委員会でも今次選挙の結果を批判検討していますが、できるだけ世論を尊重し、投票所の管理運営面につぎましても、改めるべきことは改めてゆきたいと考えております。

また、べき選挙は、わたくしたちにとって一番身近な関心の深いものばかりです。今から十分に心を

### 庁内めぐり(9) 土木係の巻

庁舎の三階事務室にあって、町づくりのツチ音を身じかに感じさせてくれる係。毎年度の町予算で約八パーセントを占める七百万の土木費は、そのほとんどが道路の修繕改修や橋のかかけ、災害復旧費などに注がれているが、それだけ町内を相手とすることも多く、また陳情やけいし交渉に攻められたりして、事務的な面にも

### 新生活運動に一言

上野の二青年(本紙の第六号)が、その後の新生活運動はどうなつたか。と心配していたが、まことに同感だ。この運動が叫ばれたころ、わたくしたちの青年団でも推進委員会をつくり、いくつかのスローガンをかかけて熱心に呼びかけたものだった。しかし村のおとなたちは、青年の理想を喜んでみかえはくれなかった。

一例をあげてみよう。いっしょに推進員だった年上の人たちが、結婚するとき切々と語つてくれたことばがある。「あのときみんな力を合わせて、村の結婚改善について話し合ひ、オラのときは

### 町の声

してください。明るく朗らかに、梅のないりっぱな選挙ができるように、川西町が住みよい町として育つてゆくように努力してください。(選挙管理委員会)

ギセイの大きい仕事だといえる。合併以来すでに四年、これまで過渡期だった町の土木行政も、いよいよ百年の大計を立てる段階に入ってきた。しかし、いまだに協力的な地区のあることがこの事業のガンだともいわれ、道路拡張のための買収費や物件の補償などによるイザコサが、この係にとって最大のなやみであるという。

増田係長(室島)は、合併まぎわの仙田村でりっぱに助役を勤めてくれたオトト。ずしりとした係長タイプもすっかり板についたし、九十九ルーマンの輝きもいまひとときで、一ルックスに切り替わるといふところ。一ハテ困らずや、金さえあれば何のことはないがの……と、ときには頭をかかえることもある。

いやだ。そうかといつて、これらの圧力をはねかえす力のないわたくしたちが、また弱いかもしれないのだが……。いずれにせよ理想期にある青年と、これまでの生活に経験の深い年寄りやオトト、オカカがよく話し合ひ、力を合わせて進んでこそ、はじめてこの運動の進展が可能だと思ふ。

幸い県の指定町村になったのを機会に、わたくしたちの青年もんとカンパツチゆきたい。おとうさんおかあさんがたの協力を切に希望する。(小白倉・一青年)

◎投票には住所氏名・職業年令を明記してください。ただし紙上匿名はさしつかえありません。

◎事実と違うことや、相手の名誉を傷つけるようなものは掲載いたしかねます。

青木三郎氏(十日町)は小脇の産。かつて郡市の青年大会には、仙田村青年団ありとばやされたものだが、いまもって往時の名団長ぶりを知る人は多い。ソツポで気が強いとはいっても、それは氏をよく理解しない人のことは、理非曲直をわきまえたシンの強さは、この人の良さのすべてであらう。

山口芳蔵氏(仁田)は、「飲むことだけがとりえて……」とひかえめにけんぞんする人。学校や診療所建築の現場監督として庁舎に不在がちのことが多いが、町の建造物がつきつきと生まれるカゲには、氏の人知れぬ苦労が秘められている。

権間富雄氏(伊友)は土木の手腕家。それでいてややお人よしだといわれるゆえには、他人の意志を尊重しすぎるのそのためか。人間的には不実行型で、心の細かいろいこわな人である。いま青春に悔いなしと見たは筆者だけのヒガ目かもしれない。

小川広一氏(赤谷)は春秋に富んだ青年。このころメツキリおとなになってきたが、なかなかの社交家だとはもっぱらのうわさ、心のもちかたいかんではうんと伸びるセンスがある。高祖母(四代前)の弟が、永平寺貫主として知られた家宗禪師に当たっている。

小見可江さん(おみよしえ・永久公舎西)は水上温泉でうぶ湯を使った。ここでは土木の花だが、あまりの熱心さから愛顧も知らずによく勤めるといふ。ハギレのいきいきれいな標準語が、この人のおいたちをしのはせてくれるかのようだ。(失言多謝)

# 実施は十一月から

## 待望の国民年金制度

さる四月、国民が久しく待望の「国民年金法」が成立して、いよいよ十一月から実施されることになった。以下この制度についての概要を述べてみる。

現今ほとんどの人が働くことにより生計を維持し、家庭生活を営んでいるが、老齢になったり、思わぬ災害で一生涯おろめケガをしたり、一家の中心である父や夫を失って母子家庭になったり、といった人たちに年金を支給して、その生活を保障しようというのがこの国民年金制度である。

この制度はあらかじめ一定の保険料を納め、それに応じて年金を受け取る仕組みを基本としているが、現在すでに老令・廃疾・又は母子の状態にある者や、保険料を納める能力が乏しい人は、この拠出制の年金を受け取ることができないので、これらの人には経過的、補完的に無拠出年金を支給することとしている。

### ●制度のあらまし

これまで各年金制度からとり残されていた国民の、大半を占める農民・自営業者・零細企業の被用者などが、この制度によってこれこれでも、年金を受けられるようになったのである。

### ●適用対象と保険料

この制度によって、満二十才以上六十才未満の国民はすべて適用対象となる。しかしこの制

度発足当時に五十五才をこえている者は適用を除外され、五十才から五十五才までの者は任意加入とされている。

保険料は二十才から三十四才までは月額百円、三十五才から五十九才までは月額百五十円である。

●拠出制の年金  
老令年金は保険料を二十五年以上納めた者に六十五才から支給する。額は二万四千円から四万二千円。ただしこの制度発足当時に三十一才をこえる者は、十年か

ら二十四年に短縮される。障害年金は片手とか片足を失った者に支給され、程度の重いときは加算の措置がとられる。支給額は二万四千円から四万二千円である。

### ある女教師の手紙

思い出の八月十五日がきました。あのころ、わたしは生徒でした。大君のために命を捨てたのでした。それが人間として最高の姿だと教えられたからです。まじめな生徒でした。

終戦のラジオ放送を、わたしは病床で聞きました。「死なないで生きてゆける」ということが信じられないような喜びでした。手のひらを返すように先生たちは、民主主義と人間性について説明ははじめました。わたしは「学校」をけしきく疑いました。何人もが病み倒れ、友の兄や

お盆休みに、教え子たちがよもやまの話しをきかせてくれます。職場のようす、友人のこと、なやみ、希望など、幼なかつた子が社

障青年年金は片手とか片足を失った者に支給され、程度の重いときは加算の措置がとられる。支給額は二万四千円から四万二千円である。

母子年金は一定の期間保険料を納めた者が夫に死別し、十八才未満の子を養っているときに支給される。額は一万九千二百円から二万五千八百円まで。前記の子が二人以上あると加算がある。

遺児年金は父母に死別した十八才未満の子に、七千二百円から一万五百円まで支給する。

●無拠出制の年金  
老令福祉年金は制度発足当時に五十五才以上(任意加入者を含む)だった者で保険料納入能力がなく、拠出年金を受けることのできない七十才以上の者に一万二千円を支給する。

障害福祉年金は二十才以上の人で、日常生活の用を足すことが不能な程度の障害者に、一万八千円を支給する。

母子福祉年金は夫と死別して、現に義務教育終了前の子の生計を維持している者や、生計を維持しながら拠出制年金を受けることのできない者の、いずれも二十五才以上の子がいなければ、一萬二千円が支給される。(社会係)

「おとなの先生」をみつめました。若い命にたれも責任をとろうとしない「おとな」の社会を「ひどい」と思いました。「あんな無責任な先生には決してなるとい胸に込みました。

「うるさくておどろかした、早くの困難が思われる▲町では例の特別追加で教員に当たることとなつたといつても、町自体の力には限りがある。景気よしの所得倍増論もさることながら、「うち

入能力がなく、拠出年金を受けることのできない七十才以上の者に一万二千円を支給する。

障害福祉年金は二十才以上の人で、日常生活の用を足すことが不能な程度の障害者に、一万八千円を支給する。

母子福祉年金は夫と死別して、現に義務教育終了前の子の生計を維持している者や、生計を維持しながら拠出制年金を受けることのできない者の、いずれも二十五才以上の子がいなければ、一萬二千円が支給される。(社会係)

「うるさくておどろかした、早くの困難が思われる▲町では例の特別追加で教員に当たることとなつたといつても、町自体の力には限りがある。景気よしの所得倍増論もさることながら、「うち

「うるさくておどろかした、早くの困難が思われる▲町では例の特別追加で教員に当たることとなつたといつても、町自体の力には限りがある。景気よしの所得倍増論もさることながら、「うち

「うるさくておどろかした、早くの困難が思われる▲町では例の特別追加で教員に当たることとなつたといつても、町自体の力には限りがある。景気よしの所得倍増論もさることながら、「うち

### ふるさと

昨年九月災害のツメ跡がまだ生々しいのに、むすか十月月後にまたまたそれをも上回る大災害である▲被害額一億円といえ

まわる巨額であるが、その九割以上が仙田、橋地区に集中発生した。これは一世帯当たり約七万円、市町村民税の課税標準となつた所得平均を越える数字である。おまけに昨年大い痛手を

受けた農家や、条件の悪い、低所得農家は被害の程度がひどい。文字とおり踏んだり、けったりである▲昨年の災害も川西町付近だけの極部的な豪雨によるものであったため、人命まで失つたほどの規模でありながら、その後後に襲

つた二十一年、二号台風の陰にかかれて、その筋の理解を得にくかつたといふことだ。今回の災害も各地で記録された雨量を比較してみても明らかのように、地域差がいつそう極端で、同じ川西町であるが、千手にいてさえ、そんな大災害が実際にあったのかと頭をひねりたくなる。これでは陳情攻めに慣れた国県当局を動かすこと

かなかなの鳴けばせかる、心地して  
元町 鉄平  
金山 柏樹選

月見草月なき夜半の雲厚し  
中仙田 遊人  
スイツチヨが窓に来て鳴く涼しさよ

萩の花たれいる月の水辺かな  
学校町 正風  
さえずりの窓に朝の刻うつる

アルバイト続け日やけて遅く  
大倉 洋石  
●本紙は七月二十日付で、長野郵政局から第三種郵便物に認可されました。これまで御尽力いただいた千手郵便局のみならず、厚くお礼申しあげます。

●この号は一部の地域をのぞき、発行日の前日(毎月九日)嘱託員さんあてに郵送いたします。  
●遅くも十日中には、みなさまのお手もとに届けられることとしよう。

●遅くも十日中には、みなさまのお手もとに届けられることとしよう。